

和紙づくりの工程

- ①刈り取り
- ②蒸す
- ③皮剥ぎ
- ④煮る(煮熟)
- ⑤黒皮をけする
- ⑥白くさらす(漂泊)
- ⑦ごみをとる(塵取り)
- ⑧たたく
- ⑨紙漉き
- ⑩製品

皮剥ぎ  
黒皮を剥ぐ



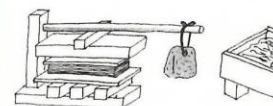
たたく  
繊維をより細く  
ほぐす



紙漉き  
簀桁(すげた)ですくって  
一枚一枚漉く



しぼる  
漉した紙をしぼる



表皮(黒皮)



楮打ち棒



紙漉き用簀



楮しぼり器



流し雛



姉妹人形



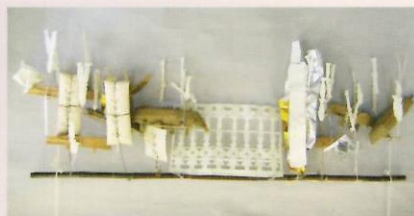
姉妹人形



和風



キリコ(エヌ船)



結納品



小倉百人一首



紙遊び



張子(だるま)



張子(お面)



張子(赤へこ)



神札



神札



神札



梵天



遊びの和紙工芸

折り紙と折形

第137回 企画展示

—— 生活を潤す自然の素材 ——  
くらしと和紙

開催期日 平成17年7月7日(木)～9月11日(日)

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 期間中無休

入館料 大人/100円 児童・生徒/50円

65歳以上と障害者の方は無料

酒田市立資料館

住所 酒田市一番町8-16  
TEL 0234-24-6544



創作和紙人形「藤娘」

# 和紙

— 書く・記す・描く —

「610年、高句麗の僧が絵の具や墨ともに紙をつくる」と日本書紀に記されており、これが日本での製紙に関する最初の記録とされています。

最初は戸籍用紙とか写経料紙など文字を記すものとして使われ普及していきまますが、次第に障子、襖などのようにくらしの中に取り入れられるようになってきました。

近年、和紙の持つ特性や美しさが再認識されてきており、書道用紙や生活用品以外にも、美術・工芸などに幅広く使われてきております。

今回の企画展では和紙で作られている多様な品々と和紙作りの工程などを紹介していきます。

開催にあたり、多くの方々から資料提供いただいたことに感謝申し上げます。



和本



補任状



錦絵



大般若波羅密多經



瓦版



紅花園体賞状

資料提供: 県立博物館・致道博物館・佐藤 栄子・神林 久子・佐藤 照子・佐藤サチ子・高野 栄成・持地 院・白旗 孝夫・五十嵐富夫 大鳥表具店・庄司 隆・鈴木有儀・心花堂



おろごぎ



酒器



和傘

和紙を使った

## 生活用具



ふすま



提灯



行灯



電気スタンド



和装用婦人コート

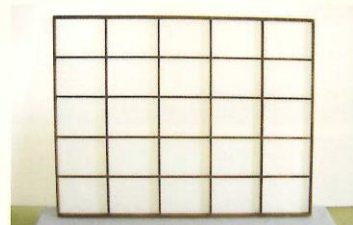


弁当箱



文箱

封筒



障子

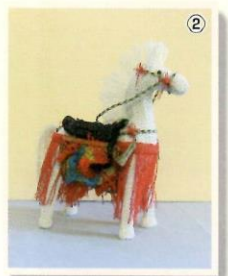


屏風

## 紙の工芸



①



②



④



⑤



⑩



⑪



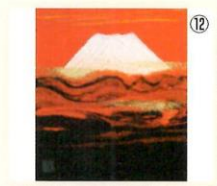
③



⑥



⑦



⑫



⑬



⑧



⑨



⑭

- ① 水引工芸「鷲」
- ② 水引工芸「馬」
- ③ 水引工芸「花」
- ④ 創作和紙人形「花嫁」
- ⑤ 創作和紙人形「天狗」
- ⑥ 和紙人形(深山和紙武者)
- ⑦ 和紙人形(深山和紙童女)
- ⑧ 和紙人形「小物入れ」
- ⑨ 漣き絵「彩夏」
- ⑩ 漣き絵「花」
- ⑪ 漣き絵「白梅」
- ⑫ 漣き絵「赤富士」
- ⑬ ちぎり絵「黄金の山路」
- ⑭ ちぎり絵「玉置の滝」